



7月号 No.4

令和8年6月30日

常二小だより

松戸市立常盤平第二小学校
校長 保坂 和志



体験活動と素直さが育む主体性…

連日、ワールドカップでの熱戦で盛り上がりを見せていましたが、決勝トーナメントの世界の壁は高かったですね。

そんな日本サッカーですが、わずか40年の間に強豪国と肩を並べるまでになったことは、世界から驚きと賞賛を得ています。

ドーハの悲劇をはじめ、2018年、2022年の決勝トーナメントでのベルギー戦の2-0からの大逆転負け、ドイツスペインを破り

ながらもPK負けなどあと少しで手が届かなかった悔しさを今まで数多く見てきました。

見ている私たちでさえその悔しさを感じてきたわけですから、努力を重ねてきた選手や関係者の方々の気持ちは想像するに難くありません。

しかしながら、この日本サッカーの歩んできた道を振り返りながら感じることは、「あのときがあったからこそ、今がある」といったことではないかと思えます。悔しさをバネにしながら、自分たちの長所や課題に向き合うことで次につながってきたと感じるのです。そのような姿に多くの人の気持ちが動かされ、感動を覚えたのではないかと思います。

そんな中、6/19、20に5年生が林間学園に行ってきました。林間学園は、運動会とともに子供達が大きく成長する学校行事のひとつです。筑波山登山でのお互い励ましあう姿、野外炊飯やそれぞれの係りで自分のすべきことを責任持ってやり遂げる姿、部屋の中やバスレクでの友だちと大いに楽しむ姿など大きな成長につながる取組となりました。

なかでもキャンプファイヤーでは、最後の「オワリはじまり」を歌う時に、自然と近くの仲間と輪になって回りながら歌う姿に、楽しさを共感している一体感があふれていました。長年の経験の中でそのような姿は初めてでしたし、見ていて気持ちのいいものでした。教師冥利を感じるひとときでも

ありました。友だちとの宿泊体験という今までにない経験の中で子供達は、一体感や協力性、責任感、友だちの何気ない思いやり、そして高揚感を体験します。その体験が一人一人の楽しいという気持ちにつながるのです。そして、この楽しいという経験は、自分から行動するという主体性の原動力となるのです。また、このように主体的に行動できる子に共通する資質には、素直に話を聞くことができる子が多いことを感じます。素直にすべきことを聞き、自分で考え実行するそんな力が備わっている



のです。反対にやりたくないことやできないことにいいわけしたり、ごまかしたり、屁理屈を言ったりする子の多くは、なかなか主体的な活動が続かないものです。上手くいかないと他に責任を転嫁することも見られます。それは習慣にもなりやすく、成長の妨げになると感じています。さらには、相手に対する許容度が低いことや自分の思いが通らないと切れる子が増えていることにもつながるように感じます。困難なことがあっても地道にやり通すことが必ず次につながる機会となるはずなのです。

主体性を育てていく即効薬はありません。素直に人の話を聞くことができる態度や今回の宿泊学習のように体験を楽しむことを積み重ねることが主体性を育てていくのだと感じています。宿泊学習に限らず、学校が行う行事や学習一つ一つでこのような力を育てていくのだと感じています。

1学期もあとわずか、子ども達にとって何が必要か考えながら職員一同取り組んでいきたいと思えます。



7月の予定



・通常日課と下校時刻が異なる日に、色がついています。お気をつけください。

日	曜	1年	2年	3年	4年	5年	6年	行事予定
1	水							全校5時間日課 ミニバスケットボール部引退試合
2	木							授業参観 3校時 LAT 引き渡し訓練 : ~
3	金							委員会活動 (6年卒業アルバム撮影)
6	月							教育相談日 1年食育講座 松戸の枝豆紹介
7	火							6年 校外学習(国会・科学技術館) 読み聞かせ 1~3年、5・6組 スクールカウンセラー・サポートルーム開設日
8	水							サッカー部引退試合 LAT
9	木							全校6時間日 芸術鑑賞会(PM) 6年 観劇ワークショップ(AM) 2年トウモロコシの皮むき体験
10	金							代表委員会 6年卒業アルバム撮影(個人写真)
13	月							
14	火							読み聞かせ 4~6年 6年 着衣泳(浮いて待て講習) サポートルーム開設日
15	水							全校5時間日課 修学旅行保護者説明会 : ~
16	木							全校5時間日課 給食終了日 大掃除(5校時)
17	金							I学期終業式

【9月の予定】

1日(火) 始業式下校 11:45

2日(水) 4時間日課 給食開始 夏休み作品展(~4日) 456年発育測定

3日(木) 5時間日課 123年56組発育測定 7日(月) 教育相談日 1年フッ化教室

11、12日(金、土) 6年修学旅行 14日(月) 6年振替休業 16日(水) 5時間日課

24、25日(木、金) 体カテスト

サポートルーム開設日 9/8(火)、15(火)、25(金)、29(火)

スクールカウンセラーSC 来校日(木) 9/3、15、10/1、20、11/17、12/1、15

おしらせ



1. 夏の交通安全週間 7/10（金）～7/19（日）です。

6/12, 16のHPで交通安全教室の様子と一緒に伝えしたように【小学生の歩行中における交通人身事故の主な特徴】

- 1年生から3年生は歩行中の死傷者数が多く、学年が上がるにつれて減少傾向。
1, 2年生の交通事故の死傷者は6年生の2, 5倍になっている。
- 4年生から6年生までは、歩行中より自転車乗用中の死傷者数が多い。
- 学校生活に慣れてきた6月、日没が早くなる9月から12月にかけて交通事故が増加傾向。
- 午前7時、午後2台～午後5時台に集中。
- 歩行者に何らかの原因があった事故の死傷者数は、飛び出しが70.1%と多く、次いで横断違反が15.3%と多い。 となっているそうです。



○道路を横断するときは、見通しの善し悪しにかかわらず、必ず「止まる・見る・待つ」を行う。

○登校の際には時間に余裕を持つ。忘れ物が無いよう確認する。

※時間が無く先を急いだり、忘れ物をして慌てたりすると安全確認が疎かになり、事故に遭う危険性が高くなる。

事故に遭わないよう、上記について学校と家庭とで繰り返し子ども達に伝えていきたいと思ひます。

熱中症予防運動指針

2. 熱中症の予防について

○学校の活動では、暑さ指数(WBGT)が一つのめやすとなっています。暑さ指数とは、湿度・輻射熱・気温の3要素を組み合わせた指標で熱中症の予防に活用しています。



毎時間保健室の市村先生や教頭先生が計測しているのです。

屋外では、 $\text{湿球温度} \times 0.7 + \text{黒球温度} \times 0.2 + \text{乾球温度} \times 0.1$ で算出されます。湿度の影響が大きいのです。熱中症予防運動指数に則って、WBGTが31を超えると運動を中止する配慮をしています。

WBGT	暑さ指数	対応	説明
31以上	31以上	運動は原則中止	熱中症の発症リスクが非常に高くなる。特に子どもの場合は中止を要する。
28-31	28-31	厳重警戒 (強い運動は中止)	熱中症の発症リスクが高くなる。強い運動や持久系など体力が上りやすい運動は避ける。10~20分程度は休憩をとり水分・塩分を摂取する。暑さに弱い人は早急な休憩を要する。
25-28	25-28	警戒 (積極的な休息)	熱中症の発症リスクが高くなる。積極的な休息をとり、水分・塩分を摂取する。強い運動では、水分が足りずに脱水症状となる。
21-25	21-25	注意 (積極的な水分補給)	熱中症による発症リスクが高くなる可能性がある。熱中症の発症に注意するとともに、運動の開始に積極的に水分を補給する。
18-21	18-21	ほぼ安全 (通常の水分補給)	熱中症による発症のリスクは低い。通常の水分補給を心がける。

○登校時の帽子の着用をお願いします。



- あるのとないのでは、熱中症の予防に大きな差があります。もちろん日傘でもかまいません。

• 交通安全のこともあるので、学校でも黄色い帽子の着用を声かけをしています。熱中症予防もありますので、家庭でもぜひ帽子の着用をお願いします。

3. 不審者対応訓練について

○今年度7/8に訓練を実施していた不審者対応避難訓練は2学期の実施に変更します。ご了承ください。

4. 情報モラルについて

○ネットトラブルなどSNSでの問題が低年齢化してきています。そのため、25日に3年生以上が情報モラル講座を実施しました。

詳しくは次の6月のホームページに載せておきますので参照してください！



6月のホームページから

6.25 情報モラル講座



小学生でスマホやタブレットなどは身近なものになってきています。自由に使えるようになったり人が知らないことができるようになってきたりするとつい善悪の判断を考えず、使ってしまい、トラブルになることにつながっています。そのようなトラブルを自分で回避できるスキルを身につけるために3年生以上が情報モラル講座を実施しました。この講座は千葉県が行っている講座です。

中学年は知識として知っておく、高学年は自分ごととして考えるといったことがねらいです。

スマホやタブレットなどのICT機器を使ってやっていいこと・できることとやってはいけないことの判断ができるようになり、トラブルの加害者や被害者にならないスキルを高めるのです。

子供達は、動画を見たり講師の先生の話の聞いたりする中で、子供達はあぶないことをよく知っていて「ダメー!」「やっちゃいけない!」と反応しています。やってはいけないことがわかっているでも実際にそういった場面になったときに自分で活用を制限できる力が大切となっていきます。そのために、自分で守るルールや守れなかったときのペナルティを自分で考えることが正しい使い方につながっていくと講師の方が話されていました。

ぜひこの週末、子供達が持ち帰ったプリントでご家族の方と一緒に確認してほしいと思います。

6.5 球技ブロック大会が行われました!



松戸市では市内45校の小学校が3校ずつ15のブロックにわかれてサッカーとミニバスケの試合を行います。

高木第二小学校、松飛台第二小学校、常盤平第二小学校の3校で熱戦が繰り広げられました。

結果はミニバスケットボール部2勝、サッカー部2敗でした。

どうすれば相手チームにボールをとられないようにするのかさまざまな方法を試しながら粘り強く戦う姿、最後まであきらめないことで自分たちのチャンスをねらう姿、接戦のシーソーゲームや逆転されても仲間を信じて必死にボールを追いかける姿、応援席がひとつになって精一杯の応援を行う姿、そんな姿が数多く見られました。

結果以上に大きな成長を感じた経験となりました。スポーツは小学校の結果が、最終的なゴールではありません。将来に向けての必要な力を身につけていくことがゴールとなります。そんなきっかけとなった大会であったと感じます。

学校に戻ったときには、なんと!6年生が応援の寄せ書きを作っていました。

それを食い入るように見つめる子供達!どちらの思いも、きっといい経験となっていくことでしょう!

今までご協力いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました!

そして、球技を楽しんだ部活動の子供達!とてもがんばりました!!